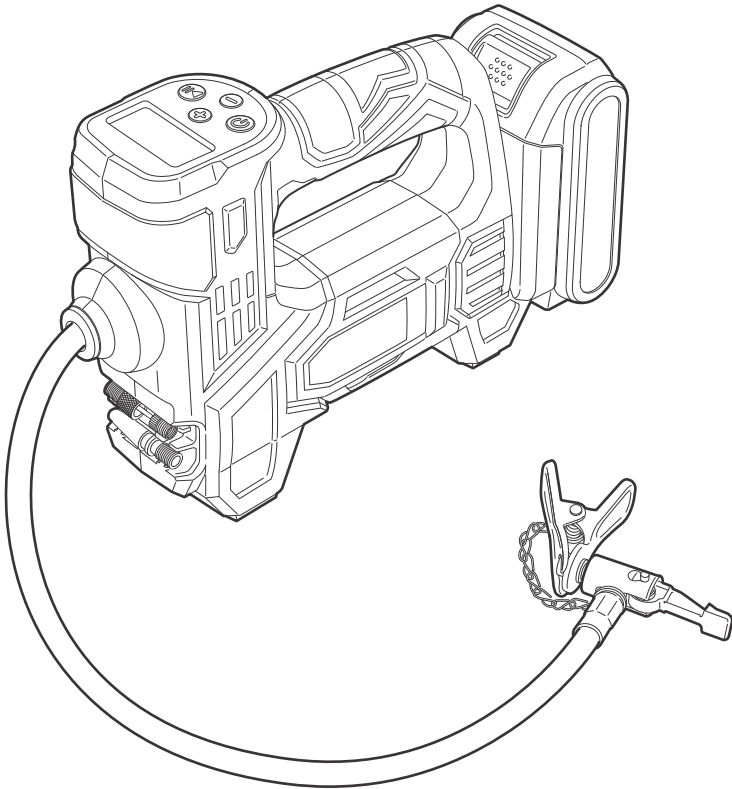


充電式空気入れ
18V 本体のみ

取扱説明書



目次

●安全にご使用いただくために	1～2	●保守と点検	12
●充電式空気入れ 使用上の注意	3	●トラブルの原因と対策	13
●各部の名称と付属品	4	●MEMO	14
●使用方法	5～9	●サービス・保証	15
●バッテリーについて	10～11		

※バッテリー・充電器は付属されていません。

**警告**

安全のため必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
本機の使用方法を誤りますと、けがをするなど大変危険です。

お客様へ

本製品は家庭用です。
業務用にはお使いに
ならないでください。

本機は充電式の空気入れです。バッテリーを付けた状態で保管したり持ち運ぶと不意に動く可能性があり大変危険です。使用しないときは必ずバッテリーを外してください。

安全にご使用いただくために

このたびは本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき、警告及び注意事項を厳守して安全に正しくご使用ください。又、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる場所へ、大切に保管しておいてください。

※ここに示した警告及び注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

以下は充電工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないことがあります。

1.作業をするときの服装について

- 充電工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ等を必ず身につけてください。
屋外作業するときは滑り止めのついた履物をおすすめします。
- ・作業中、本工具（先端パーツ）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶついた衣服や、ネクタイ等は着用しないでください。
- ・作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用してください。

2.作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいな場所で作業をするようにしてください。
・ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにしてください。
・暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 充電工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。
可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないでください。
- ・可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発のおそれがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場には作業員以外は近づけないでください。又、作業員以外の人には充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- ・作業場の近くに作業員以外の人がいったり、充電工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 充電工具は雨の中、湿気の多い場所では使用しないでください。
・感電のおそれがあり大変危険です。

3.取り扱いについて

- 充電工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 不意な始動は避けてください。
・バッテリーを本機に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ・スイッチに指をかけて運ばないでください。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（先端パーツ）にひび割れ、亀裂がないか、ねじが確実に締まっているか、工具（先端パーツ）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら販売店、又は発売元に修理を依頼してください。
- ・ねじがゆるんでいたり、工具が正確にセットされていないと本機の破損、けがの原因となります。
- 本機をご使用するときや先端パーツを交換したときは、必ず試運転をしてからご使用ください。
・試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
・規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具（先端パーツ）の交換等のときは必ずバッテリーを本機から取り外してください。又、作業後は必ずバッテリーを取り外してから保管してください。
- ・スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、バッテリーを取り外し、点検、修理に出してください。
- ・異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
- ・電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。又、電源プラグを抜くときに電源コードを引っ張らないでください。
- ・電源コードを熱、油、角のあるところ、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電するおそれがあります。
- 工具（スパナ、ねじ回し等）は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
- ・工具を本機の近くに置いて運転すると思わぬけがの原因となります。
- 本機は取り扱いに不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
- ・加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料が飛んだり振り回されて思わぬ事故の原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないでください。
- ・能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

4.バッテリー、充電器について

- 本機専用のバッテリー、充電器をご使用ください。違ったものを使用しますと作動及び充電ができません。又、破裂、損傷のおそれがあります。
- 充電器は、ラベルに表示してあるAC100Vの電圧でご使用ください。表示を超える電源や直流電源、エンジン発電機では異常に発熱して火災のおそれがあります。
- 温度は、10℃～40℃の範囲で充電してください。範囲を超えますと十分な充電ができません。又、破裂、火災のおそれがあります。
- 充電は換気の良い場所で行ってください。又、充電中は充電器の空気穴をふさいだり、布などで覆わないでください。破裂、火災のおそれがあります。又、充電中は充電器のそばから離れないでください。
- 充電が終わりましたらバッテリーを取り外し、電源プラグを抜いてください。放置しますと火災のおそれがあります。
- 雨の中、湿気の多い場所では充電しないでください。感電のおそれがあります。
- 連続使用、又は連続充電で充電器及びバッテリーの温度が上昇しているときは、十分な間隔をあげ、温度が低くなってから充電してください。バッテリー、充電器の温度が上昇しているときは十分な充電ができません。
- 保管するときや、持ち運ぶときは、必ずバッテリーを取り外してください。

5.手入れと保管について

- 常に本機の手入れに心がけ、長期間安全にご使用ください。
・使用後汚れたままで湿度の高い場所に放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入れをして良い切れ味でご使用ください。
・切れ味が悪いと仕上がり面が悪くなるばかりでなく、モーターに負荷が多くなり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
・修理、点検は販売店、又は製造元にお申し付けください。
- 作業が終わりましたらバッテリーを取り外し、切りくず、ほこりなどを取り除き、手入れをしてお子様の手のとどかない湿気の少ない場所に保管してください。

充電式空気入れ 使用上の注意



警告

誤った取り扱いをすると人が死亡、又は重傷を負ったり、重大な物的損害事故の可能性が想定される内容を示します。

- 砂の上や汚れた場所で使用しないでください。異物が本機内部に入って故障の原因となります。
- 通気口への空気の流れを制限しないように壁、又は物から少なくとも50 cm 離れて、開けた空間で本機を操作してください。
- 使用前に本機やエアホース、付属品などに損傷がないことを確認してください。
- タイヤ、ボール、小さな浮き輪など本機が対象とするもの以外に空気を入れないでください。対象物が破損して、けがの原因となります。
- タイヤ、ボール、小さな浮き輪以外の大容量の対象物などに空気を入れないでください。本機が高温になり、やけどをするおそれがあります。
- 本機や対象物の最大圧力を超えて空気を入れないでください。本機や対象物が破損して、けがの原因となります。
- 空気を入れるときは、安定した水平な場所に本機を設置してください。又、エアホースに損傷を与える鋭利なものや薬品・油などの近くで使用しないでください。
- 空気を入れるときは、各種アダプタを確実に接続してください。エアホースの折れやからまりなど、確実に接続されていないと、各種アダプタ、対象物が破損して、けがの原因となります。
- 空気を入れるときは、本機の圧力計の値、本機及び対象物の状態、エア漏れがないことを確認しながら行ってください。確認せずに空気を入れると、本機や対象物が破損して、けがの原因となります。
- 指定された連続運転時間を超えて、本機を使用しないでください。本機が破損して、けがの原因となります。
- 動作中、モーターを冷却するための空気が本機モーターの風穴を通ります。故障の原因となるので風穴を塞がないようにしてください。
- 使用中、本機の異常に気付いたときは直ちにスイッチを切りバッテリーを抜いて使用を中止してお買い求めの販売店、又は商品お問い合わせ先までご連絡ください。
- エアホースの吐出口を人や動物に向けしないでください。異物などが飛散して、けがの原因となります。
- エアホースの吐出口を粉じんなどに向けしないでください。粉じんなどが飛散して、けがの原因となります。
- 空気を入れた直後は、本体、エアホース、各種アダプタなどに触れないでください。金属部が熱くなって、やけどをするおそれがあります。
- 空気を入れた後は調整済みの信頼できる計測機器で空気圧を測定してください。本機の圧力計の値は参考値としてください。
- 空気を入れた後にエアホースを取り外すときは、各種アダプタをしっかりと保持して、ゆっくりと行ってください。急に取り外すと排気風により各種アダプタ、又は対象物が跳ねて、けがの原因となります。
- エアホースに対象物が接続されているとき、又は本機の操作中に本機から離れないでください。
- 本機を持ち運ぶときは、本機のグリップを持ってください。エアホースを持ったり、引っ張ったりしないでください。本機が破損して、けがの原因となります。
- 本機を呼吸用の機器として使用しないでください。
- 本機を使用して化学薬品を噴霧しないでください。有毒ガスを吸い込んで肺を損傷する原因となります。
- お子様やご使用方法がわからない方には絶対にご使用させないでください。
- 次の作業のときは、必ずバッテリーを本機から取り外して作業してください。
 - ・調整、点検を行うとき。
 - ・本機を持ち運ぶとき。
 - ・本機を使用しないとき、保管するとき。
- 本機が熱くなったり、異常が感じられた場合は、直ちに使用をやめてお買い求めの販売店、又は商品お問い合わせ先までご連絡ください。
- お客様ご自身での修理、改造は絶対にしないでください。重大な事故の原因となります。
- 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。電源コードを持って電源コンセントからプラグを抜かないでください。火災やショートの原因となって大変危険です。
- 濡れた手で本体やバッテリーに触らないでください。

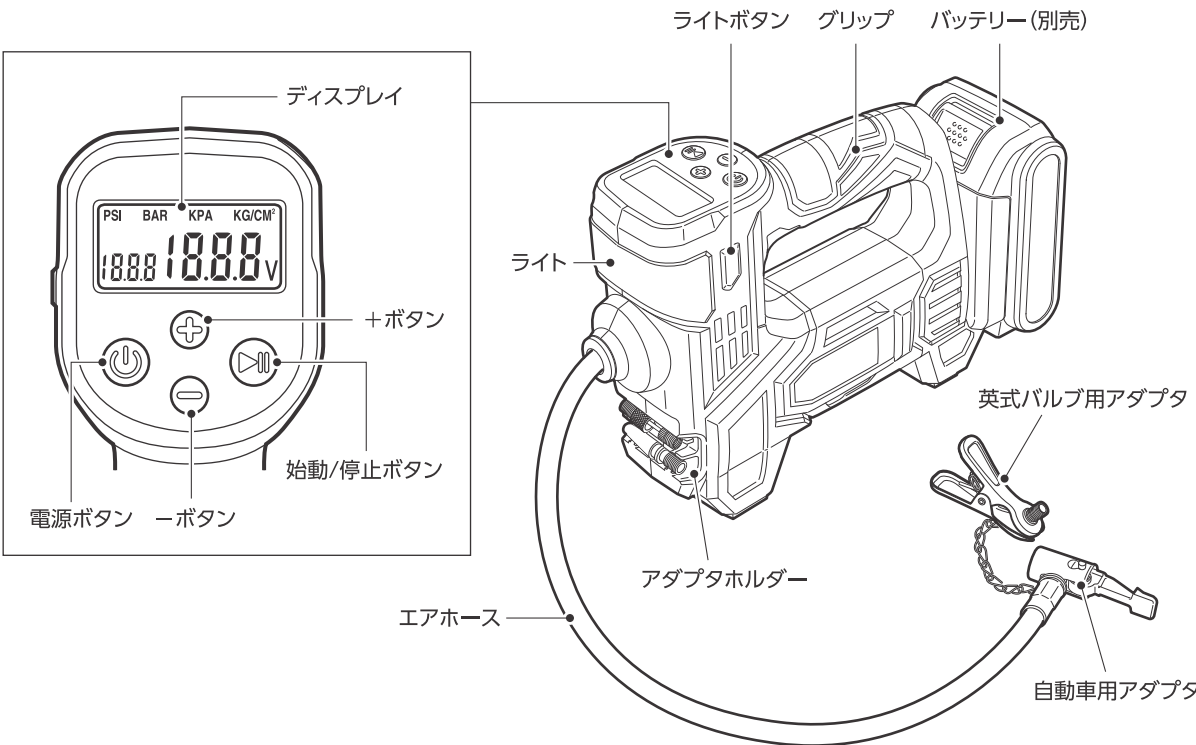


注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。取り付けが確実でないと外れたり、事故の原因となります。
- 本機は大事に使用してください。誤って落としたり、ぶつけた場合は異常の有無を確認してください。
- 本機を保管するときは、お子様の手の届かない場所に安全な状態で保管してください。湿度の高いところ、雨のかかるところ、直射日光のあたる場所には保管しないでください。
- 本機は日本国内専用です。海外では使用できません。
- 注意に表記してある場合でも状況によっては、死亡、重症等の重大な事故につながるおそれがありますので、必ず守ってください。

各部の名称と付属品



付属品



※①②③は本体のアダプタホルダーに収納済み。
※④はエアホースに取り付け済み。
※本書では充電電池(バッテリー)をバッテリーと表記しています。

■本体仕様

型番	YBK-180	エアホース長さ	700mm
電圧	直流18V	空 気 入 れ が 可 能 な 対 象 物	自動車、オートバイ、自転車のタイヤ、 ボール、浮き輪 ※対象物のアダプタ形状や空気穴によっては、空気を入 られない場合もあります。
最 高 圧 力	1,033kPa		
本 体 寸 法	W215×D170×H70(mm)		
本 体 重 量	約0.95kg*		

※本体重量はバッテリーを除きます。 ※作業目安時間は対象物の種類、充電の状態によって変わります。
※改良のため、主要機能及び形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

使用方法

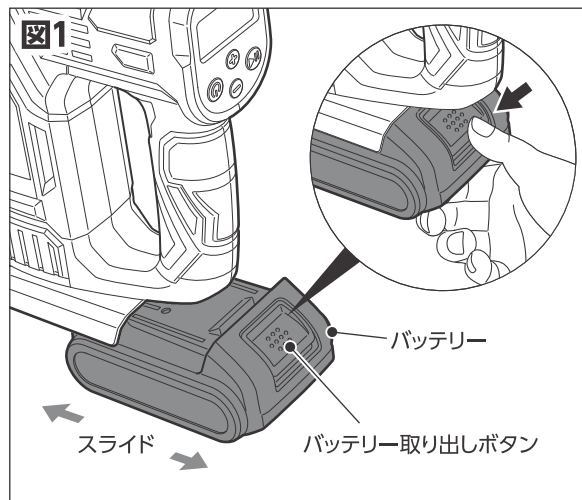
警告

- 本機専用の充電器、バッテリーをご使用ください。違ったものを使用しますと充電ができません。又、破裂、損傷のおそれがあります。
- 充電器は、ラベルに表示してあるAC100Vの電圧でご使用ください。表示を超える電源や直流電源、エンジン発電機では異常に発熱して火災のおそれがあります。
- 温度は、10℃～40℃の範囲で充電してください。範囲を超えますと十分な充電ができません。又、破裂、火災のおそれがあります。
- 充電は換気の良い場所で行ってください。又、充電中は充電器の空気穴をふさいだり、布などで覆わないでください。破裂、火災のおそれがあります。
- 充電が完了しましたらバッテリーを抜き取り、電源プラグを抜いてください。放置しますと火災のおそれがあります。
- 雨の中、湿気の多い場所では充電しないでください。感電のおそれがあります。
- 連続使用、又は連続充電で充電器及びバッテリーの温度が上昇しているときは、十分な間隔をあげ、温度が低くなってから充電してください。バッテリー、充電器の温度が上昇しているときは十分な充電ができません。
- 保管するときや、持ち運ぶときは、必ずバッテリーを取り外してください。

1 バッテリーの取り付け・取り外し方

- ①バッテリーを取り付けるときは、本機とバッテリーの溝を合わせ、確実に奥まで差し込んでください。(図1)
- ②バッテリーを本機から取り外すときは、バッテリー取り出しボタンを押しスライドさせると取り外せます。(図1)

※差し込み後は、確実にセットされていることを確認してからご使用ください。確実にセットされていないときは、使用中にバッテリーが落下して思わぬ事故の原因となります。

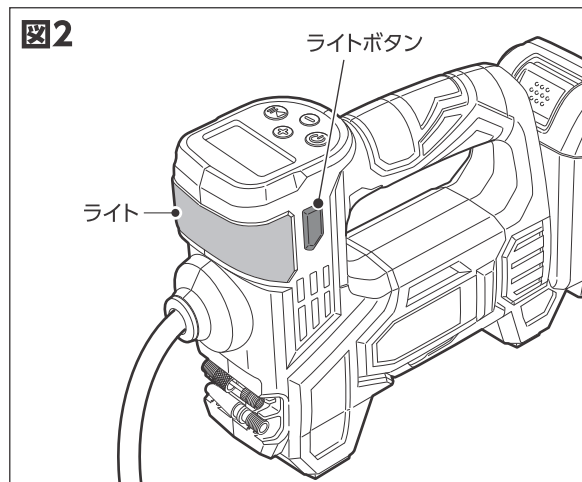


2 ライトの点灯

- 暗い場所で作業するときなど、ライトを点灯させたままご使用いただけます。

- ①ライトボタンを押すとライトが白色灯(弱)で点灯します。(図2)
- ②ライトボタンを押すたびに下記のようにライトの動作が切り替わります。

→ 白色灯(弱) → 白色灯(強) → 赤色灯(点滅) → OFF



3 空気圧の設定

警告

- 本機や対象物の最大圧力を超えて空気圧を設定しないでください。本機や対象物が破損して、けがの原因となります。
- 本機の圧力計が示す空気圧の数値は目安になります。空気を入れた後は調整済みの信頼できる計測機器で空気圧を測定してください。

- 最初に対象物の空気圧を確認してから設定してください。自動車は運転席側ドア開口部の下部分に記載されています。オートバイはフレームやチェーンガード、スイングアーム付近に記載されています。自転車はタイヤ側面に記載されています。ボールなどは空気注入口の周辺に記載されています。不明な場合は対象物の販売店などに確認してください。

- 設定圧力や圧力単位は、前回の設定値が記憶されます。毎回設定内容を確認してください。

- ①電源ボタンを押して、本機の電源を入れます。(図3) ディスプレイに前回設定した設定内容が表示されます。

- 対象物に各種アダプタを接続している際は、対象物の現在の空気圧がディスプレイに表示されます。未接続時は「0」と表示されます。

- 何も操作しないで約15秒経つと、電源が切れディスプレイが消灯します。操作する際は、再度電源ボタンを押してください。

- 電源を切るときは、電源ボタンを長押ししてください。

- ②+ボタンと-ボタンを同時に押して圧力単位を設定します。+ボタンと-ボタンを同時に押すたびに表示される圧力単位が下記のように切り替わります。(図4)

→ PSI → BAR → KPA → KG/CM²

- ③+ボタン、-ボタンを押して空気圧を設定します。(図4)

- 空気圧を設定する際は、+ボタン、又は-ボタンを長押しして素早く数値を変更することもできます。

- 各圧力単位は下記の範囲内で設定することができます。

圧力単位	設定可能範囲
psi	3.0～150.0(0.5psi単位)
bar	0.2～10.3(0.05bar単位)
kPa	20～1030(5kPa単位)
kg/cm ²	0.2～10.55(0.05kg/cm ² 単位)

図3

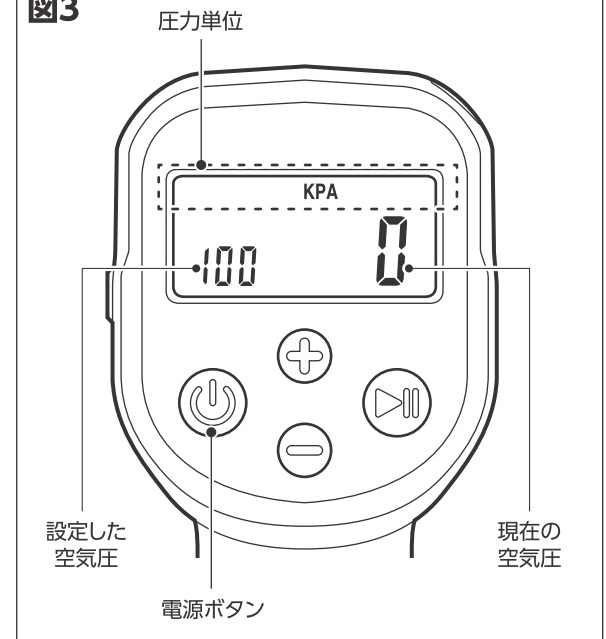


図4



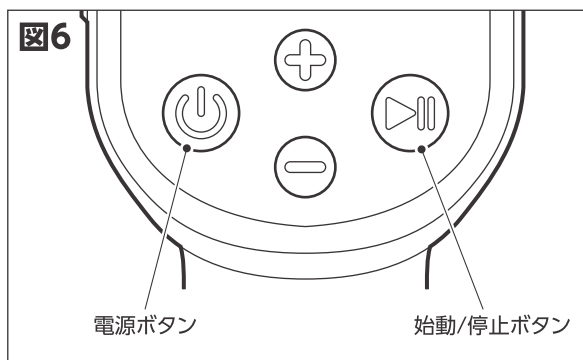
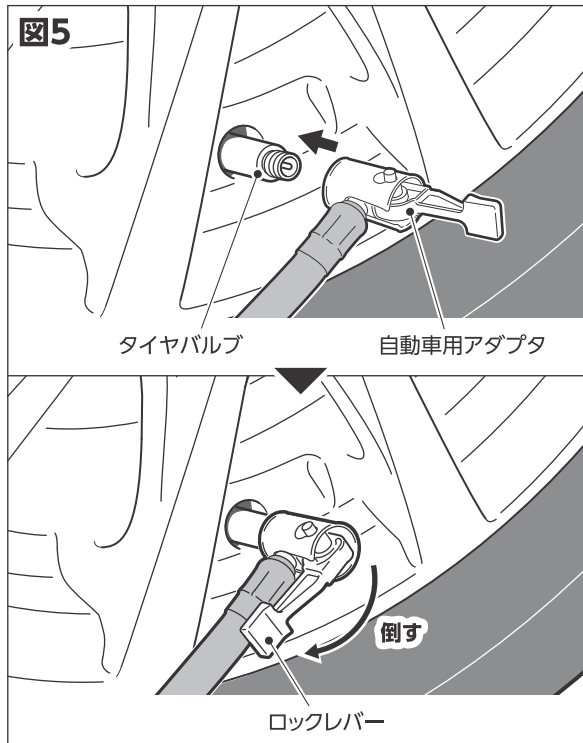
4 自動車、オートバイの空気の入れ方



警告

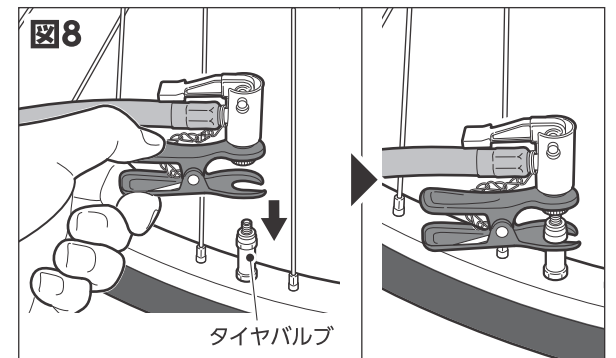
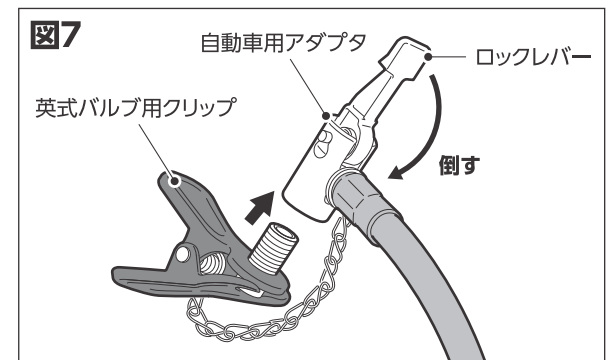
- 約8分以上の連続運転をしないでください。本体が熱くなると自動で停止し、動作しなくなります。自動で停止した場合は30分以上間をあけ、本体を冷ましてから使用してください。
- タイヤに空気を入れるときは、タイヤの表面、側面(サイドウォール)にキズや、ひび割れができていないことを必ず確認してください。劣化したタイヤに空気を充てんとすると破裂のおそれがあります。
- タイヤへの空気充てん中は、タイヤの側面(サイドウォール)側の正面から身体を避けてください。

- ①自動車、又はオートバイのタイヤバルブキャップを外します。
 - ②自動車用アダプタをタイヤバルブの先端にはめ込み、ロックレバーを倒して固定します。(図5)
 - タイヤ内の空気がもれないように、しっかりと接続されているか確認してください。
 - ③本機の電源を入れ、適性空気圧に設定します。
設定方法はP6「空気圧の設定」をご覧ください。
 - ④本機の始動/停止ボタンを押して空気を入れます。(図6)
 - 設定した空気圧に達するまで自動で空気を入れ、自動で停止します。
 - 空気の充てんを途中で止める場合は、始動/停止ボタンを押してください。
 - ⑤自動で停止したら、電源ボタンを約3秒間長押しして運転を停止します。(図6)
- ※本機の圧力計が示す空気圧の数値は目安になります。空気を入れた後は調整済みの信頼できる計測機器で空気圧を測定してください。
- ⑥ロックレバーを起こして自動車用アダプタを取り外し、自動車、又はオートバイのタイヤバルブキャップを取り付けます。



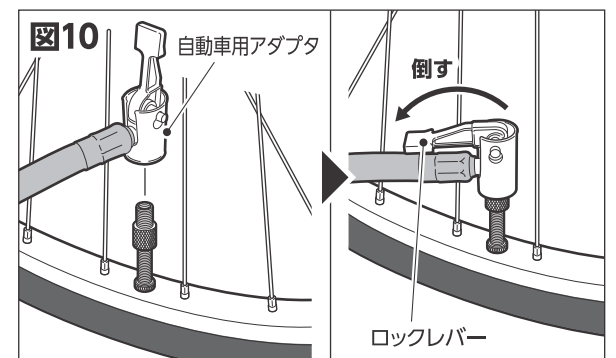
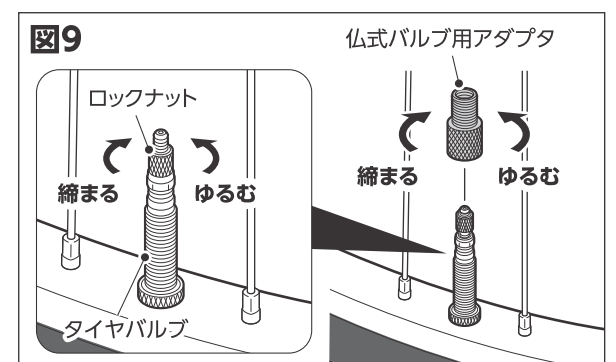
5 一般的な自転車(英式バルブ)の空気の入れ方

- ①英式バルブ用クリップを自動車用アダプタに取り付けて、ロックレバーを倒して固定します。(図7)
 - ②自転車のタイヤバルブキャップを外します。
 - ③英式バルブ用クリップを開いて、タイヤバルブの先端にはさみ込んで取り付けます。(図8)
 - タイヤ内の空気がもれないように、しっかりと接続されているか確認してください。
 - ④本機の電源を入れ、適性空気圧に設定します。
設定方法はP6「空気圧の設定」をご覧ください。
 - ⑤本機の始動/停止ボタンを押して空気を入れます。
 - 設定した空気圧に達するまで自動で空気を入れ、自動で停止します。
 - 空気の充てんを途中で止める場合は、始動/停止ボタンを押してください。
 - ⑥自動で停止したら、電源ボタンを約3秒間長押しして運転を停止します。
- ※英式バルブ用クリップを使用するときは、バルブの特性上、充てんが完了したときの現在圧力表示は「0」と表示されます。
- ⑦ロックレバーを倒したまま英式バルブ用クリップを取り外し、自転車のタイヤバルブキャップを取り付けます。



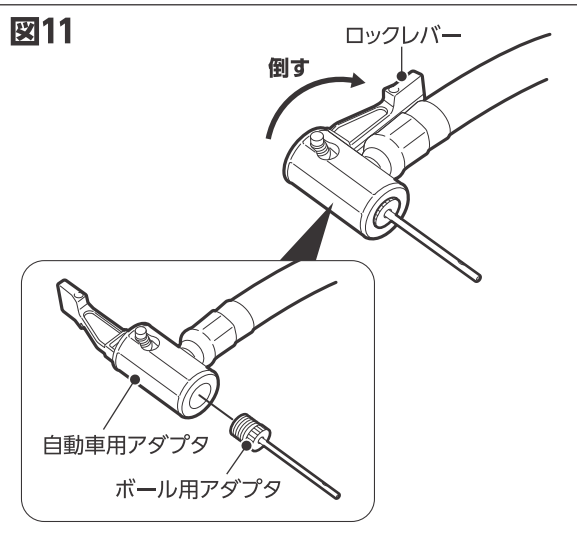
6 スポーツタイプ自転車(仏式バルブ)の空気の入れ方

- ①自転車のタイヤバルブキャップを外し、タイヤバルブ先端のロックナットをゆるめます。(図9)
 - ②仏式バルブ用アダプタをタイヤバルブ先端に締め付けます。(図9)
 - ③自動車用アダプタを仏式バルブ用アダプタに取り付けて、ロックレバーを倒して固定します。(図10)
 - ④本機の電源を入れ、適性空気圧に設定します。
設定方法はP6「空気圧の設定」をご覧ください。
 - ⑤本機の始動/停止ボタンを押して空気を入れます。
 - 設定した空気圧に達するまで自動で空気を入れ、自動で停止します。
 - 空気の充てんを途中で止める場合は、始動/停止ボタンを押してください。
 - ⑥自動で停止したら、電源ボタンを約3秒間長押しして運転を停止します。
- ※本機の圧力計が示す空気圧の数値は目安になります。空気を入れた後は調整済みの信頼できる計測機器で空気圧を測定してください。
- ⑦ロックレバーを起こして自動車用アダプタを取り外します。その後仏式バルブ用アダプタを取り外し、タイヤバルブ先端のロックナットを締め付け、自転車のタイヤバルブキャップを取り付けます。
- ※ロックレバーを倒したまま無理に引っ張るとロックナットやタイヤバルブが破損するおそれがあります。



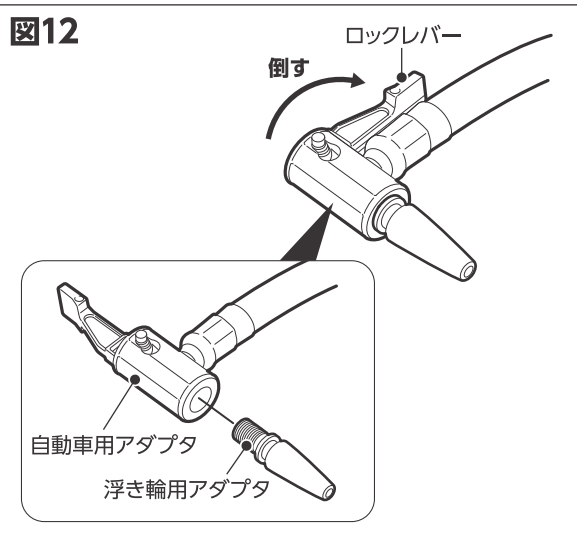
7 ボールの空気の入れ方

- ①ボール用アダプタを自動車用アダプタにはめ込み、ロックレバーを倒して固定します。(図11)
- ②ボール用アダプタをボールの空気穴に差し込みます。
●確実に差し込まれているか確認してください。
- ③本機の電源を入れ、適性空気圧に設定します。
設定方法はP6「空気圧の設定」をご覧ください。
- ④本機の始動/停止ボタンを押して空気を入れます。
●設定した空気圧に達するまで自動で空気を入れ、自動で停止します。
●空気の充てんを途中で止める場合は、始動/停止ボタンを押してください。
- ⑤自動で停止したら、電源ボタンを約3秒間長押しして運転を停止します。
※本機の圧力計が示す空気圧の数値は目安になります。空気を入れた後は調整済みの信頼できる計測機器で空気圧を測定してください。
- ⑥ロックレバーを倒したままボール用アダプタを取り外します。



8 浮き輪の空気の入れ方

- ①浮き輪用アダプタを自動車用アダプタにはめ込み、ロックレバーを倒して固定します。(図12)
- ②浮き輪用アダプタを浮き輪の空気穴に差し込みます。
※付属している浮き輪用アダプタが対応していない浮き輪などもあります。
●確実に差し込まれているか確認してください。
- ③本機の電源を入れ、始動/停止ボタンを押して空気を入れます。
※空気の入れ過ぎに注意してください。
●浮き輪の圧力は35kPa未満のため、圧力計に正確な値が表示されません。圧力計は使用せずに、浮き輪の状態を確認しながら空気を入れてください。
- 空気の充てんを途中で止める場合は、始動/停止ボタンを押してください。
- ④空気が入ったら、ロックレバーを倒したまま浮き輪用アダプタを取り外します。



バッテリーについて

警告

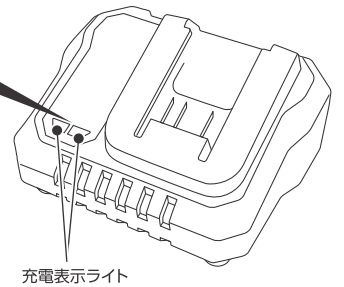
- バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。バッテリー液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
- 指定したバッテリー以外は充電しないでください。
- 約60分(YBP-1815の場合)で充電が完了しますので、充電完了後はバッテリーを抜き取り電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。充電完了後に差したまま放置しないでください。火災・発熱・破損・液漏れのおそれがあります。
- 高温・多湿・雨の当たる場所で充電しないでください。故障の原因となります。
- 充電中は充電器のそばから離れないでください。
- 本機を使用されないとときや保管されるときは、必ずバッテリーを取り外してください。
- バッテリーを使用されない場合は、満充電にして保管してください。長期間使用されない場合は、6ヶ月に1度は充電してください。長期間充電をせず放置された場合、自然放電によりバッテリーの故障や寿命短縮の原因となります。

1 バッテリーの充電方法 ※必ず専用充電器「YCH-18V」をご使用ください。

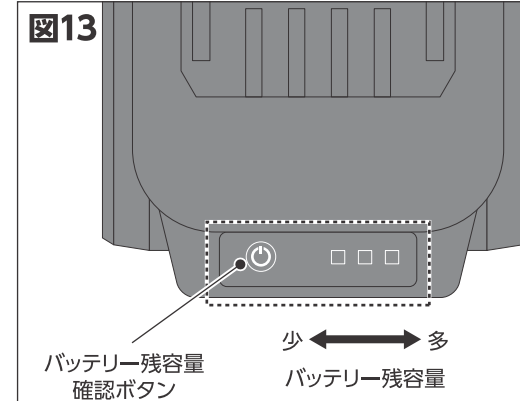
- バッテリーの電源ボタンを押してバッテリー残容量を確認できます。(図13)
- ①充電器の電源プラグを100Vの電源コンセントに差し込んでください。充電器の表示ライトが〈赤〉消灯・〈緑〉点滅になります。
 - ②バッテリーを充電器の挿入ガイドにそって確実に奥まで挿入してください。(図14)
 - ③バッテリーを挿入すると、充電器の表示ライトが〈赤〉・〈緑〉点灯し充電を開始します。
 - ④充電が完了すると、充電器の表示ライトが〈赤〉消灯・〈緑〉点灯になります。
 - ⑤バッテリーを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。
 - ⑥「高温待機」:〈赤〉点滅・〈緑〉消灯の場合は、充電器のプラグを抜きバッテリーを冷ましてから再度充電してください。
「充電不可」:〈赤〉・〈緑〉2色点滅の場合は、バッテリーの故障もしくは寿命により充電できない状態です。

充電表示ライトの表示・内容

充電表示ライトの状態	充電表示ライトの内容
消灯 赤 緑 点滅	充電前
点灯 赤 緑 点灯	充電中
消灯 赤 緑 点灯	充電完了
点滅 赤 緑 消灯	高温待機
点滅 赤 緑 点滅	充電不可



ご不明な点は、お買い求められました販売店、又は商品に関するお問い合わせ先までご相談ください。



2 保護機能

適応機種でご使用中、下記状態になるとモーターが停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

状態	対応方法
●ご使用機器が過負荷状態になったとき。	スイッチを一旦止め、再度入れなおしてください。
●バッテリーの残容量が少なくなったとき。	専用充電器「D-CH18V」で充電してください。
●本機及びバッテリーの温度が高温になったとき。	本機及びバッテリーを冷ましてから再度ご使用ください。

3 使用上の注意事項

- ご使用機器の力が弱くなってきたと感じたら、充電してください。
- 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- 充電は周囲温度10℃～40℃の範囲で行ってください。
- バッテリーを使用されない場合は、満充電にして保管してください。長期間使用されない場合は、6ヶ月に1度は充電してください。長期間充電をせず放置された場合、自然放電によりバッテリーの故障や寿命短縮の原因となります。

4 バッテリーの回収について

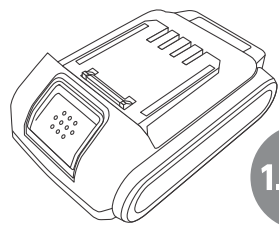
バッテリーは消耗品です。
使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。
お買上げの販売店へご持参ください。



Li-ion 20 使用後はリサイクルへ

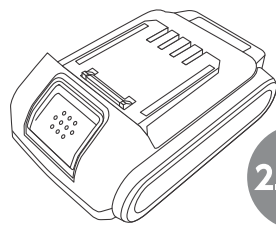
5 単品販売について

リチウムイオンバッテリーは消耗品です。充放電回数や保管方法により使用できなくなります。
バッテリーが使用できなくなったときは、必ず指定のバッテリーをご購入してご使用ください。



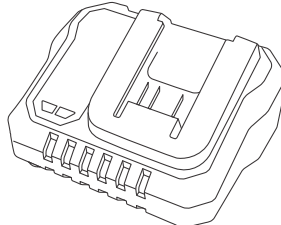
1.5Ah

リチウムイオンバッテリー
YBP-1815
(充電完了時間:約40分)
JAN:4550533108033



2.5Ah

リチウムイオンバッテリー
YBP-1825
(充電完了時間:約60分)
JAN:4550533108040



18V 充電器
YCH18V
JAN:4550533108057

保守と点検



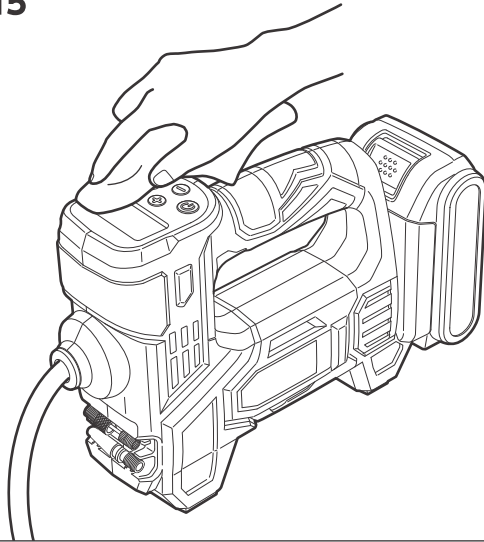
警告

●保守と点検をするときは、必ずバッテリーを取り外した状態で行ってください。

《 本体とアダプタのお手入れ 》

- 本体やアダプタは、乾いた柔らかい布、石けん水を付けた布などで拭きとり、汚れを落としてください。(図15)
- ※本体は水洗いしないでください。本体内部に水が入り、故障の原因となります。
- ※シンナーなど石油類などでの清掃は絶対しないでください。変色、変形、ひび割れの原因となります。

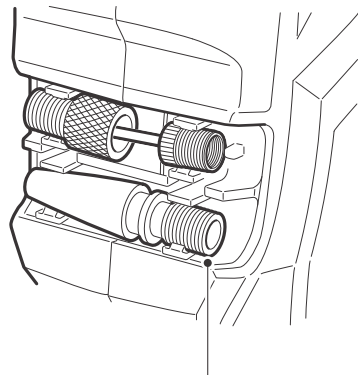
図15



《 保管について 》

- 付属品のアダプタは図のように本体のアダプタホルダーに取り付けて保管してください。(図16)
- 保管は高温にならず、湿気の少ない、お子様の手のとどかない場所に保管してください。
- ※保管するときは、必ずバッテリーを取り外してください。

図16



アダプタホルダー

トラブルの原因と対策（本機は一般家庭での使用を目的にしていますので、
過酷な状況での連続使用は避けてください。）



警告 ●原因の調査や対策を講じられる場合は必ずバッテリーを取り外してから行ってください。

症 状	原 因	処 置
動かない	バッテリーが抜けていませんか。	バッテリーを本機にしっかり差し込んでください。
	バッテリーの温度が高温になっていませんか。	本機よりバッテリーを取り外し、バッテリーを冷ましてください。
	過負荷になっていませんか。	本機よりバッテリーを取り外し、過負荷の原因を取り除いてください。
	バッテリー容量が少なくなっていないですか。	本機よりバッテリーを取り外し、バッテリーを充電してください。
空気がうまく入らない	ロックレバーは倒れていますか。	ロックレバーを倒して、固定してください。
	各種アダプタは正しく取り付けられていますか。	P7～P9を参考に各種アダプタを正しく取り付けください。
設定した空気圧になる前に止まった	約8分以上連続使用していませんか。	30分ほど運転を停止し、十分に冷めてから使用してください。

表中に記載されていない故障など、ご不明な点は、お買い求められました販売店、又は商品に関するお問い合わせ先までご相談ください。

MEMO